

富岡市後質の知的障害者授産施設「水土舎」(金谷透施設長)が建設を進めていた、重度障害者更生施設「ムゲン」が完成。落成記念式典が30日、同所で開かれ、関係者ら約40人が参加した。

重度障害者
更生施設

関係者40人で式典

富岡

自立支援の拠点完成



記念式典であいさつする金谷さん

富岡甘楽地域では初の更生施設。重度の障害のある子供を持つ住民からの要望を受け、署名運動などを続けた末、昨年建設が決まった。

ムゲンは、重度障害者や発達障害者の生活訓練を図る通所施設で、水土舎の隣接地に設置された。二階建て延べ面積約三百六十平方メートルの施設内には、生活訓練施設や納豆、キムチなどを作る軽

作業室がある。記念式典には、地元県議や地域の福祉関係者らが出席した。

来賓あいさつに続き、水土舎の父母会長が「親なき後を見据えた、経済的自立を支援する施設ができて良かった。一人でも、安心して生きていける環境をつくってほしい」と期待を込めた。

金谷施設長は施設設置の経緯を振り返り、「私たちは障害者支援の本道を歩み、スタッフの専門性が高い。これからも障害を持つ人たちのために頭張りたい」と話した。ムゲンは今月オープンし、十人ほどが通所する。施設内では通所者の絵画を含めた「谷内六郎と水土舎の愉快な仲間たち展」を開き、一般公開している。

完成した「ムゲン」を見学する関係者ら

